

ベルリナーの円盤式蓄音機(グラフォフォン)



ベルリナーをはじめとするベルの開発チームのメンバーは、蓄音機の実用化に向け始動し、いろいろな改良を加えた。

1887年、円盤式蓄音機「グラフォフォン」を誕生させた。

エジソンの蓄音機が、音の振動を針の圧力の強弱としてシリンダー(円筒)に刻む縦振動の記録再生方式だったのに対し、ベルリナーは針の振動を90度回転させて、音の振動を横振動に変換してディスク(円盤)に刻む方法だった。

さらに原盤から大量、安価に再生専用の円盤を作る方式も考えた。

このプレスされたレコード盤をかける再生専用蓄音機は、30年近くエジソンの円筒式蓄音機とこの分野における覇を争ったが、最終的にはベルリナーの方式が勝利をおさめた。ベルリナーが作ったグラモフォン社はいくつかの変遷を経て、現在、世界的な音楽企業・ビクターになっている。



ベルリナーの蓄音機の成功の鍵となった3人

1891年、ベルリナーは蓄音機の子会社を設立しガイスベルグに出会う。

ベルリナーの美しく良いものを各家庭に贈りたいという願いを
ガイスベルグは理解し、それに基づいて行動を開始した。

1896年、ベルリナーはジョンソンに出会い、ぜんまい動力の蓄音機を製造。

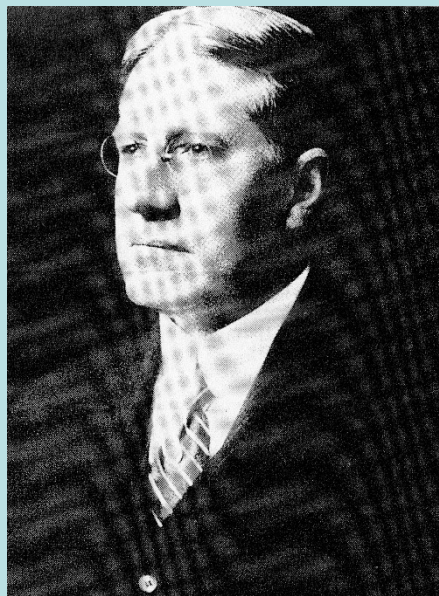
1901年、ジョンソンはベルリナーとともにビクターを設立し代表者となる。

ガイスベルグはイタリア・スカラ座の新進テノール歌手カルーソの歌声を録音。
カルーソは若く、野心的で新進性に優れていた。

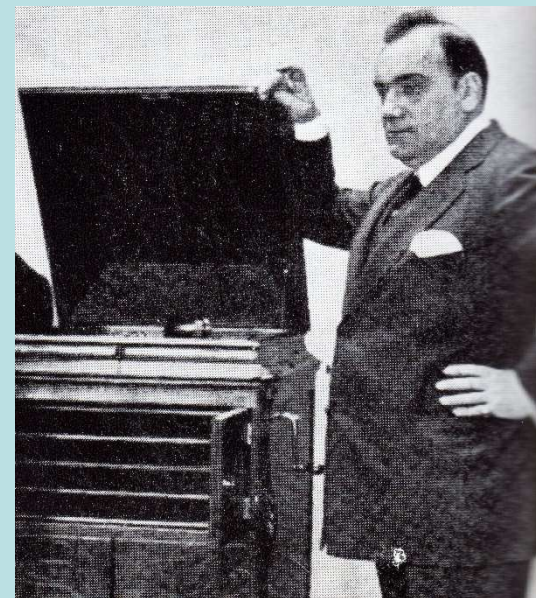
この結果、100ポンドの報酬に対して数ヵ月後に1万3000ポンドの売上に。



ガイスベルグ



ジョンソン



カルーソ